企業・団体名（　株式会社カサ・ピノ・ジャパン　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用、昇進、登用、教育、福利厚生等全ての雇用条件で差別を行わないことを構築し、経営者が確認している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントを禁止する旨、相談体制等を就業規則に明記し、整備されている。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤怠はPC管理され、提携している社労士事務所に随時報告されており、過度な長期労働にならないように務めている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・「採用時に外国人であることを理由に不採用にしない」等外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・「安全衛生方針」及び実施目標を掲げ、「年間安全衛生計画書」で活動管理を行っている。 ・月に1度「安全衛生会議」及び「安全パトロール」を実施している。 ・工場では採用時及び定期的に安全衛生教育を行っている。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・社員がメンタル面で第三者に相談できるように、社会保険労務士事務所に窓口を設置。（社内で上司や同僚に相談しにくい場合を想定して、窓口を設定。カウンセラーや医療機関への連携が速やかにできるようにしている。） ・上司との面談の実施（3ヵ月に1回の頻度）			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・社員総数（アルバイト、派遣除く）のうち女性の比率は56%（2024年1月現在） ・管理職の男女比は男性2人：女性2人（2024年1月現在）であり、女性が十分に活躍できる環境が整備されている。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・健康診断の実施及び結果の情報を会社が管理し、その結果に基づき、社員の健康保持の為に必要な措置について講じている。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・年度毎に「教育訓練計画書」を作成し、全ての従業員に対して計画的に安全衛生、FSSC22000（食品安全MS）、技能教育等の教育訓練を行っている。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・雇用について、外注している社労士事務所にアドバイスを頂いており、法令に沿って順守している。								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・「産廃物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に則り、マニフェスト制度に基づいて適切に処理している。 ・ワインの瓶、ラベルや外箱等は、リサイクル可能な素材ばかりのもので、更にこれらが製造工程で廃棄物になることは殆どない。 ・当社の事業は産業廃棄の視点から見て、廃棄物・廃棄量が非常に少ない事業である。											○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	経理・総務担当は毎月の光熱費をモニタリングしており、効率的に使用されているかを把握して効率化を進めている。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・工場の証明は全てLEDを使用・ワインの原液をバルク状態（タンクに入ったまま）で日本へ輸送⇒運送手段にかかる負荷軽減⇒CO2削減に貢献。ワインを詰める瓶についてはカレット再生瓶を使用、瓶のキャップや商品ラベル・外装箱の紙はFSC森林認証紙など、リサイクル＆リユースの資材を使用。工場の電力は１００％再生可能エネルギーによる水力発電の電力を使用している。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、適切な表示及び受払い管理を行っている。			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・有機JAS認証（有機加工食品生産行程管理者）を取得し、防虫管理で使用する薬剤等の使用は許可されているもの、なおかつ最小限の使用に留める等、生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 ・敷地内の除草については草刈りのみとし、除草剤は使用しない。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・自社の水は上水を受水槽に貯水し、利用状況を適切に管理を行っている。 ・トイレ等は節水型のものを使用している。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	-			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・取引先等に向けて、「ＣＰＪのSDGs 取組のご紹介」と題してPDF資料で、随時説明 ・当社のウェブサイトにも随時掲載し、取り組みを公開している。												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・２０１９年６月以降、韮崎工場の使用電力につき、再生可能エネルギーを。（「やまなしパワーPlus」の電力プランを導入、水力発電による電気を使用。） ・２０２１年７月より、四国電力の「実質再エネ１００％電気」（非化石証書等による環境価値を合わせた電気）のプランに切り替え、再エネルギーの利用割合を高くし、併せてコスト削減にも取り組んでいる。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・工場の電力は１００％再生可能エネルギーによる水力発電の電力を使用。												○	○	○	○		
21		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・ワインを詰める瓶についてはカレット再生瓶を使用。 ・商品ラベル・外装箱の紙はFSC森林認証紙等リサイクル＆リユースの資材を使用。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・契約書等のリーガルチェックをはじめ、必要であれば顧問弁護士に相談している。																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	新入社員の教育訓練に、不正競争行為に関与しない講習をおこなっている。上司によるOJT																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・当社の製造品については、適宜、商標登録を行っている。								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報の保管は厳重に管理しており、社員のPC、タブレットに保存しないように取り決めている。 ・会社貸与のPC、タブレット、スマホしか使用できないように設定している。 ・PC等へのログインは２重のパスを設定している。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	-																○	

27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	-					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・「食品安全・品質方針」を設け、工場は食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC２２０００を認証取得している。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・「食品安全・品質方針」を設け、工場は食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC２２０００を認証取得している。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・ワインを詰める瓶についてはカレット再生瓶を使用。 ・商品ラベル・外装箱の紙はFSC森林認証紙等リサイクル＆リユースの資材を使用。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・ワインを詰める瓶についてはカレット再生瓶を使用。 ・商品ラベル・外装箱の紙はFSC森林認証紙等リサイクル＆リユースの資材を使用。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・工場排水は全て下水道に接続され、排水のｐＨ管理を行っている。 ・騒音振動についても特定施設設置の届け出を行い、騒音、振動が敷地外に漏れないように適切に管理を行っている。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	-				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	-								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・法令遵守、コンプライアンス研修を行っている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営者が年度初めに経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標等について「マネジメントレビュー」を行い、社内への共有を行っている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・酒類を取り扱う業種なので、酒税法関連法律を遵守している。 ・工場に於いて、工場の運営並びに製品製造に係わる関係法令を遵守するため、消防法、労働安全衛生法から食品衛生法まで多岐にわたる法令をチェックし、届け出等の手続きに漏れがないように法令管理表を作成して、適時、進捗管理を行っている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	-																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・毎年度「リスクと機会対応計画書」を作成している。リスクの特定、評価を行い、影響、緊急性等からリスク値を算出し、値の高い項目について取り組みを行っている。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	-																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	-																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・「事業継続計画書」、「緊急事態対応規定」を策定し、有事の際の行動マニュアルとしている。 ・社員の安全確保を最優先事項としている。									○		○		○			○	

43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	-								○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17